

札幌市中央卸売市場活性化ビジョンの概要

第1章 基本的な考え方

- 趣旨**
 - 持続可能な強い市場づくり
- 特徴**
 - 開設以来初めて水産青果合同での作成
- 策定までの取組み**
 - ワークショップの開催
 - 市場活性化委員会の立上げ
 - 4つのワーキンググループで検討

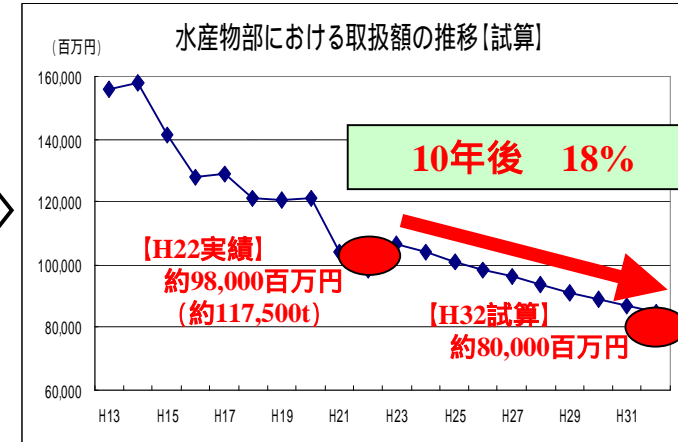
第2章 市場を取り巻く環境

- 取り巻く環境**
- 人口減少と少子高齢化
 - 市場外流通の増加
 - 消費者意識の変化

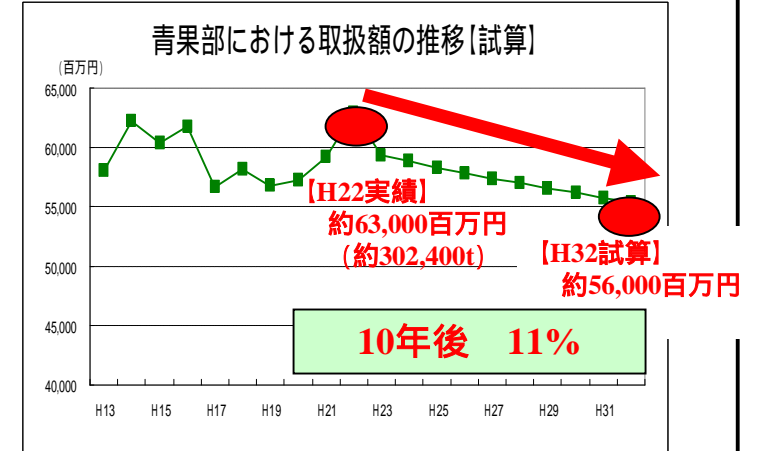
卸売業者4社の取扱額はピーク時(H10)から **35% (H22比)**

仮にこのトレンドが続くとすると、
10年後の試算は

水産物部



青果部



第3章 活性化ビジョン

当市場は中央拠点市場に指定
【国の第9次卸売市場整備基本方針】

私たちが取り組むこと

緊急課題1

環境にやさしい市場づくり

緊急課題2

災害に強い市場づくり

基本理念

- 北海道の拠点市場 (中央拠点市場)
- 食の発信拠点
- 開かれた市場

ビジョンの4つの視点

- 販売力の強化**
 - 小売組合による割引ポイントカード発行
 - 道産品の道外販売の強化
 - 量販との取引拡大
 - 他市場との共同集荷に向けた市場間協定
- 情報発信機能の強化**
 - 食情報のメルマガ配信
 - メディアを活用した道産ブランド品等のPR
 - 産地プロモーションの積極的受け入れ
 - 場内関係者の情報共有化
- 市場機能の強化**
 - 取引ルールの最適化
 - 卸売業者等の産地訪問
 - 市場のハブ化
 - 卸売業者及び仲卸業者の経営基盤の強化
- 集客力の強化**
 - 食育の普及促進(こども料理教室など)
 - 食関連イベントの実施
 - 近隣商業者との連携
 - 実感型見学プログラムの導入

- ### 私たちが取り組むこと
- エネルギー**
 - 太陽光発電システムの導入 など
 - 【目標】電気・ガス30%削減
 - 廃棄物**
 - 資源リサイクル施設の設置 など
 - 【目標】廃棄物50%削減

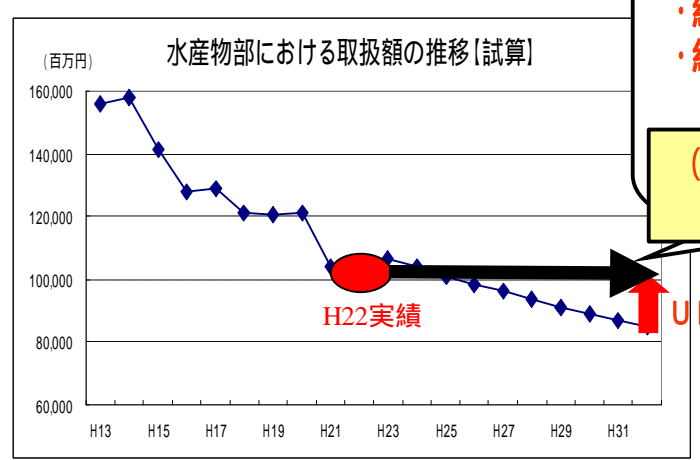
- ### 私たちが取り組むこと
- 東日本大震災の教訓
- 物流機能の混乱
 - 震災発生時の対応
- GS等とのガソリン調達協定
 - 食品の安全対策の実施 など

ビジョンの目標

ビジョンの取り組み

- 市内販売**
 - 量販の利用しやすい市場への変革
 - 消費拡大への取組み(食育の普及促進)など
 - 【水産・青果】市内人口減少率 1%程度に維持
- 道内販売**
 - 道内他市場との市場間協定の締結 など
 - 道内他市場のシェア率倍増 (道央圏13% 30%、その他圏域6% 10%)
 - 道内生産年齢人口減少率 18%のところ、【水産】 3%程度に維持 【青果】9%程度の増加
- 道外販売**
 - 道産品の道外販売の強化 など
 - 【水産・青果】10%程度の増加

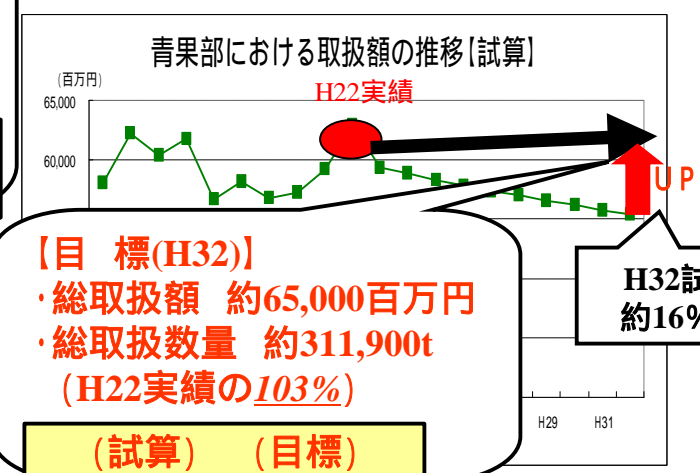
水産物部



【目標(H32)】
・総取扱額 約98,000百万円
・総取扱数量約117,600t
(H22実績の100%)

(試算) (目標)
18% 0%(現状維持)

青果部



【目標(H32)】
・総取扱額 約65,000百万円
・総取扱数量 約311,900t
(H22実績の103%)

(試算) (目標)
11% 3%増加